

いじめの早期発見に関する留意事項

①学校でわかるいじめの発見ポイント

学校生活の中で、児童はさまざまな悩みや不安に伴うサインを、言葉や表情、しぐさなどで表している。教師は、一人ひとりの児童が救いを求めて発するサインを見逃さず、早期に対応する。

いじめのサイン（学校）

項目	チェック内容	チェック
登下校時	・一緒に下校する友人が変化する。	
	・教職員と視線を合わさないようになる。	
	・元気がなく、浮かぬ顔をする。	
	・「あいさつ」をしなくなる。	
	・登校手段が変化する。	
	・特に用事もない（と思われるのに）、教職員に近づいてくる。	
朝の会・始業前	・体調不良（頭痛・腹痛・吐き気等）を訴える。	
	・提出物を忘れたり、期限に遅れたりする。	
	・担任等教職員が教室に入室後、遅れて入室する。	
	・表情が暗く、どことなく元気がない。	
授業中	・発言すると、嘲笑されたり、はやし立てられたりする。	
	・授業道具等の忘れ物が目立つ。	
	・決められた座席と違う場所に座っている。	
	・周囲の状況に関わらず、一人でじっとしている。	
	・教科書、ノート等に落書きが目立つ。	
	・他の児童から発言を強要されたり、突然個人名が出されたりする。	
	・球技の際にパスをされなかったり、パスが集中したりする。	
	・課題などを代わりにやらされる。	
・特定の児童の机と距離を離す。		
休憩時・給食時	・一人でいることが多く、集団での行動を避けるようになる。	
	・給食、弁当等を一人で食べることが多い。	
	・衣服に汚れや破れが見られ、手足や顔等にすり傷や打撲の跡がある。	
	・お金や物品の受け渡しを行っていることがある。	
	・遊びと称して、友人とふざけあっているが、表情が暗い。	
帰りの会・放課後	・持ち物がなくなったり、掲示した作品などにいたずらがあったりする。	
	・班ノートや学級日誌に何も書かなくなる。	
	・みんなが帰宅する前に一人で急いで帰宅する。	
	・みんなが帰るまで帰宅したがない。	
	・靴や傘等が隠される。	
	・教職員の近くから離れようとしめない。	

②家庭でわかるいじめ発見のポイント

保護者から、児童の家庭での様子について、以下のような相談があった場合、いじめを受けているのではないかと受けとめ、指導にあたる。

いじめのサイン（家庭）

項目	チェック内容	チェック
態度 やしぐさ	・ 家族との対話を避けるようになる。	
	・ 受信したメールをこそこそ見たりする。	
	・ 電話が鳴るとおびえる。	
	・ 部屋に閉じこもるようになる。	
	・ 家族と食事をしたがらない。	
	・ 感情の起伏が激しくなる。	
	・ 動物や物等に八つ当たりする。	
	・ 帰りが遅くなる。	
	・ 理由を言わずに外出する。	
服装・ 身体・ 体調	・ 衣服に汚れや破れが見られ、手足や顔等にすり傷や打撲の跡がある。	
	・ 自分のものではない衣服（制服）を着ている。	
	・ 学校に行きたくないと言い出す。	
	・ 登校時刻になると、腹痛等身体の具合が悪くなる。	
	・ 食欲不振，不眠を訴える。	
学 習	・ 学習時間が減るようになる。	
	・ 課題や宿題をしなくなる。	
	・ 成績が低下してくる。	
持ち 物・ 金品	・ 家庭から品物，お金がなくなる。	
	・ 用途のはっきりしないお金をほしがる。	
	・ 持ち物がなくなる。	
	・ 壊されたり，落書きがあつたりする。	
交 友 関 係	・ 口数が少なくなる。	
	・ 学校や友達のことを話さなくなる。	
	・ 無言等の不審な電話がかかるようになる。	
	・ 発信者の特定できないメールがくるようになる。	
	・ 急に友達が変わる。	

いじめのサイン（インターネット）

・ 携帯電話やゲーム機の通信画面，パソコンを頻繁にチェックする。（全く触れようとしない）	
・ 家族が近づくと，通信画面やインターネットを閲覧した後に，動揺しているような行動をとる。	
・ 携帯電話の着信音におびえるような態度をとる。	
・ 電話やメールの受信後に，そっと一人で出かけようとする。	